

令和 5 年 5 月 31 日
国土交通省関東地方整備局
鬼怒川ダム統合管理事務所

鬼怒川ダム統合管理事務所 令和 5 年度事業の概要

～水を利用し、水から守る。人々の生活を支えるダム管理～

令和 5 年度鬼怒川ダム統合管理事務所の事業概要を紹介します。

鬼怒川ダム統合管理事務所は、五十里ダム・川俣ダム・川治ダム・湯西川ダム及びダム群連携施設の 5 つの施設を一体として運用する「統合管理」を行っています。

令和 5 年度の実業は、5 つの施設が正常に機能するために、機器の老朽化対策など堰堤維持費「約 25.2 億円」により施設の点検及び修繕等を行います。

また、堰堤改良費「約 1.1 億円」により川治ダム堆砂対策等の検討を行います。

主要な事業は次のとおりです。

- 1) 主要な堰堤維持（メンテナンス）の内容 (別紙 1)
- 2) 主要な堰堤改良事業の内容 (別紙 2)

また、当事務所では、カーボンニュートラル、水中ドローンの導入、湯西川ダムハイブリッドダムの検討など（別紙 3）に取り組んでいきます。

※事業計画等は、現時点における予定であり、今後変更となる場合があります。

※上記の他、工事諸費等があります。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 栃木県政記者クラブ
宇都宮市役所記者クラブ 日光記者クラブ

<問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局 鬼怒川ダム統合管理事務所

電話：028-661-1341（代表） FAX：028-660-2344

副所長 館野 悟（たての さとる）（内線：204）

管理課 課長 伏見 一徳（ふしみ かずのり）（内線：331）



川治ダム完成

1983年
(昭和58年)

2023年
(令和5年)

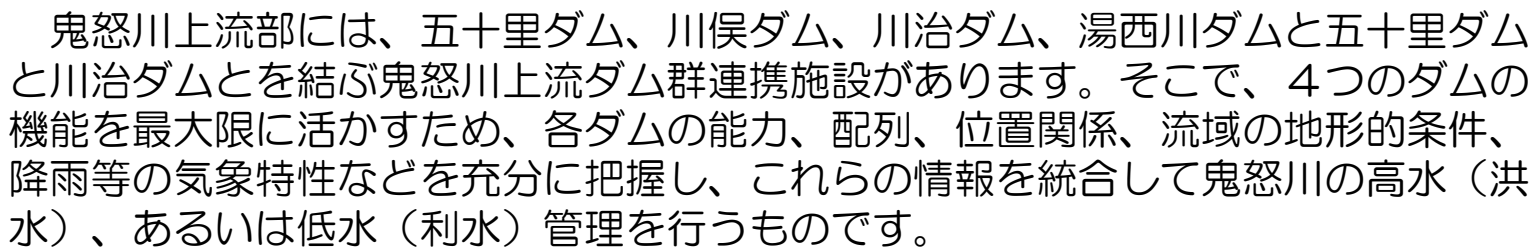
周年

鬼怒川ダム統合管理事務所HP

川治ダム40周年記念イベント 特設ページ

<https://www.ktr.mlit.go.jp/kinudamu/kinudamu00839.html>

鬼怒川は、栃木県と群馬県の県境にある鬼怒沼を水源として、栃木県日光市川治温泉地先において男鹿川をあわせ南下し、さらに大谷川、田川などの支川を合流して関東平野を潤し、茨城県守谷市において日本最大の流域面積を誇る利根川に流れ込みます。

[illegible]

■施設の点検整備

ゲート設備、電気通信設備、ダム本体などダム施設の点検整備を行って正常に動作させるとともに、施設の長寿命化を図ります。また、ダム湖に流れ込んだ流木が、治水、利水機能に支障を与えることにならないように、流木の回収を継続的に行います。



ゲート点検



サイレン設備点検



流木回収

■五十里ダム クレストゲート設備修繕

五十里ダムのクレストゲートは、想定以上の洪水時にダム天端からの越流を防ぐための非常用ゲートです。

ゲートを操作する機側操作盤の老朽化が進んでいるため、新しい機器へ更新することにより、施設の健全な状態を維持します。



五十里ダム



クレストゲート



機側操作盤

■川治ダム コンジットゲート設備修繕

川治ダムコンジットゲートは、洪水調節に使用するゲートです。

開閉を行う油圧ユニット及びそれを操作する機側操作盤の老朽化が進んでいるため、これらを新しい機器へ更新することにより、施設の健全な状態を維持します。



コンジットゲート

川治ダム



油圧ユニット



機側操作盤

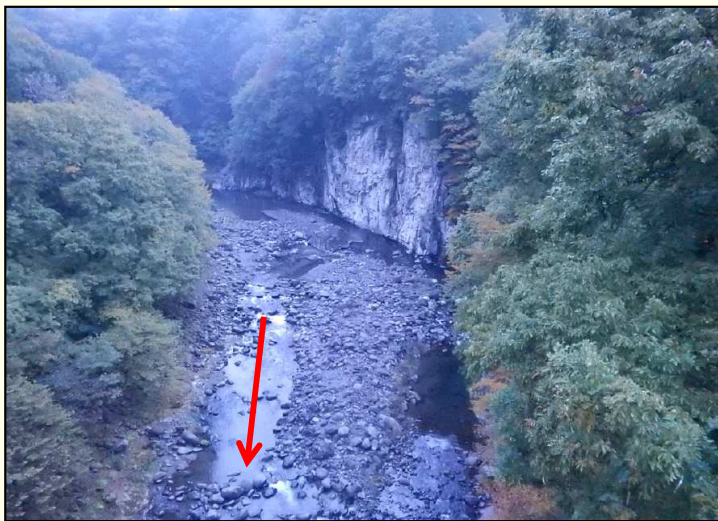
■川俣ダム

川俣ダム両岸の岩盤について、岩盤変位計、ひずみ計で計測、解析を行い、モニタリングを行います。

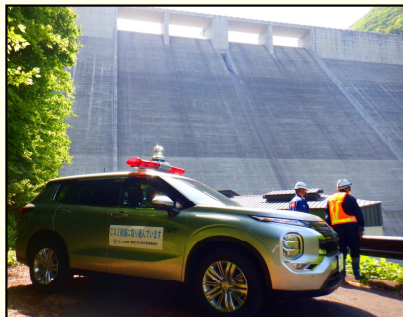


■川治ダム

川治ダムは、貯水池の堆砂が進行していることから、効率の良い土砂の撤去方法、土砂受け入れ地、必要施設の検討を行います。

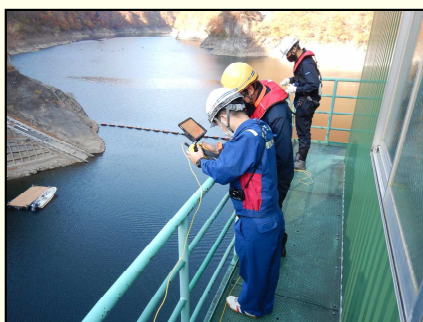


湯西川ダムのパトロールする警報車に、関東地方整備局で初めてプラグインハイブリッド車を採用しました。この警報車は、カーボンニュートラルへの取り組みとして、湯西川ダムの水力発電で生み出される電気を活用して走行しています。



水中ドローンの導入

ダムの水中考査について、これまで潜水士が目視点検していた作業をより安全に効率的に行うことを目的に、令和3年より水中ドローンの導入を行っており、操作の習熟を図るため、毎年、操作講習会を実施しています。



操作講習会



水中ドローンの映像

湯西川ダム ハイブリッドダムの検討

「ハイブリッドダム」の取組として、既設ダムへの発電施設の新增設の事業化に向け、湯西川ダムにおいて、民間事業者等の参画方法や事業スキーム等について検討を行うケーススタディを実施します。



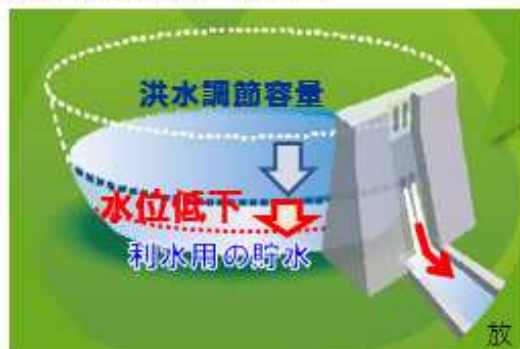
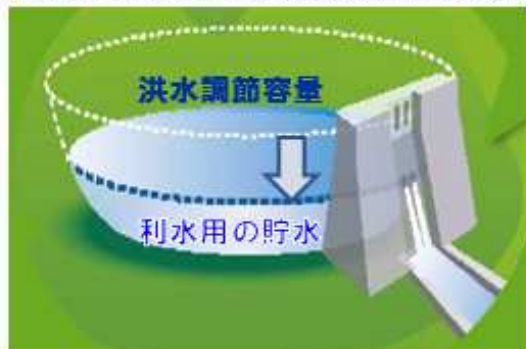
湯西川ダム

危機管理型の運用(ダムの事前放流)

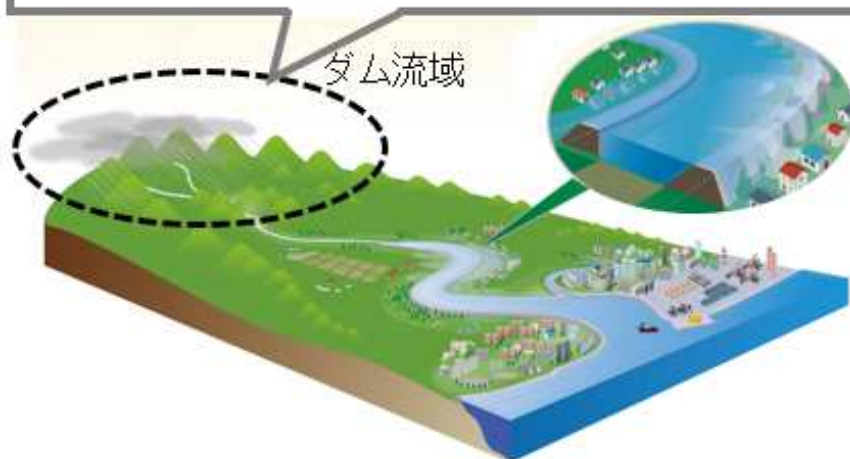
ダムの事前放流は、洪水被害の防止・軽減を目的としており、想定を超える大雨が予想される場合に、事前にダムの貯水位を下げて、より多くの洪水を貯めることが出来るようにするものです。

※事前放流では、雨が降り始める前など、晴天時からダムの放流を始めることがあり、ダム放流を開始する前には、サイレンを鳴らしスピーカーで放送等を行います。放流により増水するため、事前放流が行われている時は、川から離れ、川に近づかないようにして下さい。

●利水用の貯水を放流して、空いた容量を一時的に洪水調節に利用します。



◎現状で、多目的ダムは、洪水期(夏～秋)に洪水調節容量を確保します。利水ダムは、年間通して洪水調節容量を持ちません。



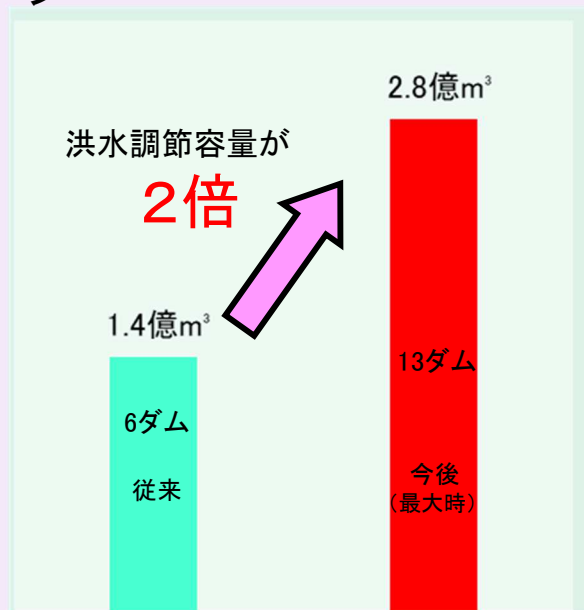
想定を超える大雨による
洪水被害の防止・軽減



ダムの事前放流イメージ



事前放流実施ダム位置図(鬼怒川流域)



鬼怒川におけるダムの洪水調節容量 6

地域活性化の取り組み

鬼怒川上流ダム群水源地ビジョンの概要

水源地域の将来像

『人・水・温泉 わくわく鬼怒川水源地郷』

水源地域ビジョンを進めていく基本方針

- 基本方針1 地域の“宝を磨いて”活かす
- 基本方針2 流域の“つながりを深める”
- 基本方針3 みんなが愛する“きぬがわブランド”を育む

対象地区

ダムに関連する鬼怒川上流地域の5つの地区（川治地区、三依地区、川俣地区、日向地区、湯西川・西川地区）を対象に「水源地域ビジョン」の行動計画（アクションプラン）を作成しました。

また、4つのダムが連携して水源地域の活性化を進めるための全体アクションプランも設けています。



推進体制

水源地域全体を包括する組織として「鬼怒川上流ダム群水源地域ビジョン推進協議会」及び地区ごとの取り組みを推進する組織として4ダムごとの「ダム部会」が設置されています。

令和5年度に水源地域の皆さんと協力して実施する取組

五十里ダム 環境放流ツアー（予定）



鬼怒川上流ダム群 連携施設ツアー（予定）



川俣ダム資料室 リニューアル



サイクリングマップ



川俣ダムのキャラクター
“かわま”がお出迎え



キャラクターは、水源地域ビジョンの中でダムのブランド化を手伝うために登場しました。4人そろって“キヌダム4姉妹”です。